

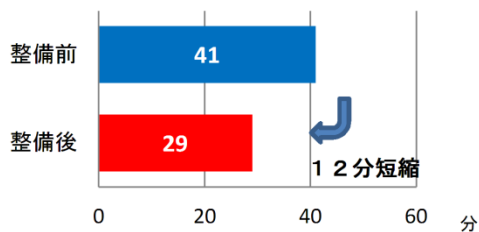
# 苅田北九州空港 IC～行橋 IC 間の開通効果①

今回の開通により、北九州市～行橋市間の高速交通ネットワークが形成され、すべて一般道路を利用した場合と比較して約 12 分の時間短縮となります。

今後、東九州自動車道が大分まで延伸した場合、北部九州のミッシングリンクが解消され、北九州市～大分市間の所要時間がすべて一般道路を利用した場合と比較し約 95 分間、現在開通している東九州道、椎田道路及び宇佐別府道路を利用した場合と比較して約 30 分間の短縮となり、福岡、北九州、大分都市圏の連携軸が強化されます。

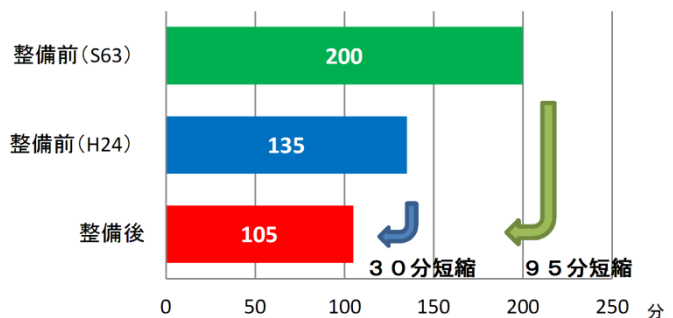


北九州市～行橋市間 時間短縮効果



※整備前は高速道路をすべて利用しない場合の所要時間

北九州市～大分市間 時間短縮効果



※整備前 (S63) は高速道路をすべて利用しない場合の所要時間

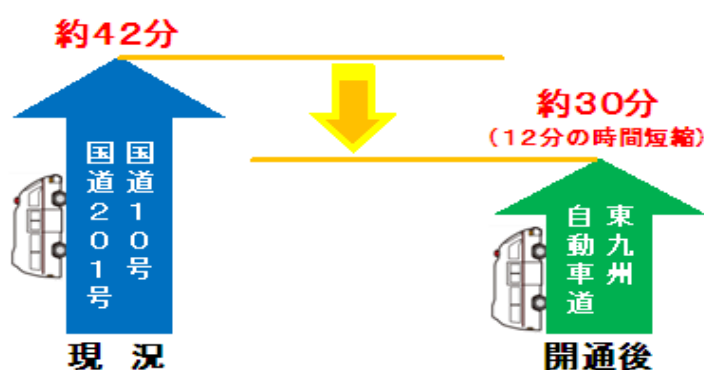
※整備前 (H24) は現在開通している東九州道、椎田道路及び宇佐別府道路を利用

## 苅田北九州空港IC～行橋IC間の開通効果②

行橋市内から北九州市内にある第三次医療施設への搬送時間が、一般道路を利用した場合と比較して約12分短縮され、救急医療活動への貢献が期待されます。



苅田北九州空港IC～行橋IC 供用時 時間短縮(行橋市吉国より)



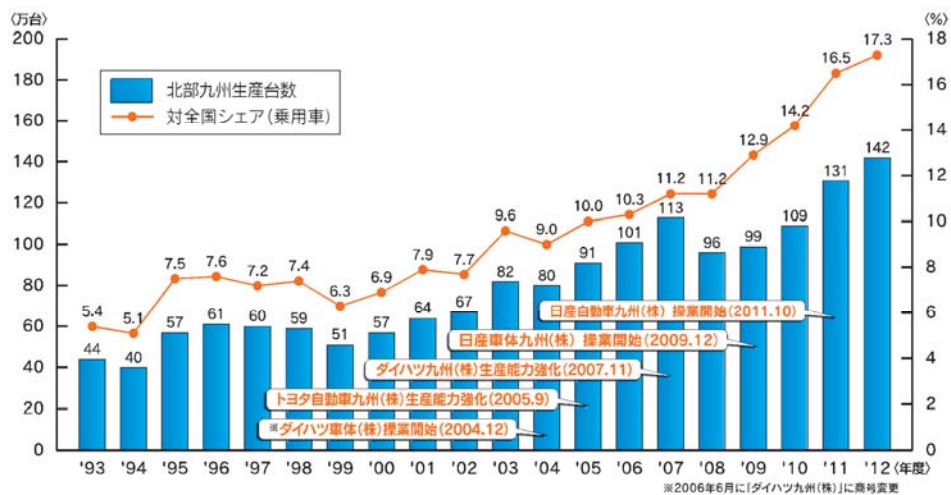
## 苅田北九州空港 IC～行橋 IC 間の開通効果③

- ・ 北部九州には、自動車関連産業が集積しています。
- ・ 福岡県は、産学官が連携してアジアをリードする一大生産拠点の構築を目指しています。【180万台生産、国内シェア20%】
- ・ この自動車関連産業の多くは高速道路の沿線にあるため、高速道路ネットワークを整備することで、高速道路へのアクセスが向上し、物流の効率化が図られ、地域産業の活性化や発展が期待されます。

### 北部九州における自動車産業の集積と交通インフラ



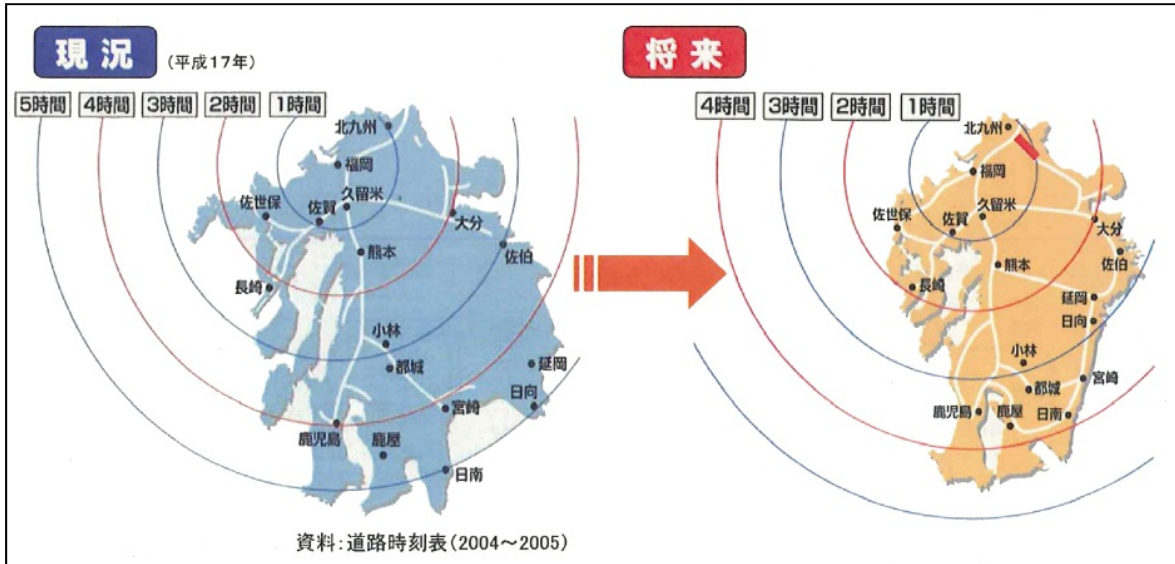
### 北部九州自動車生産の推移



出典：北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクト

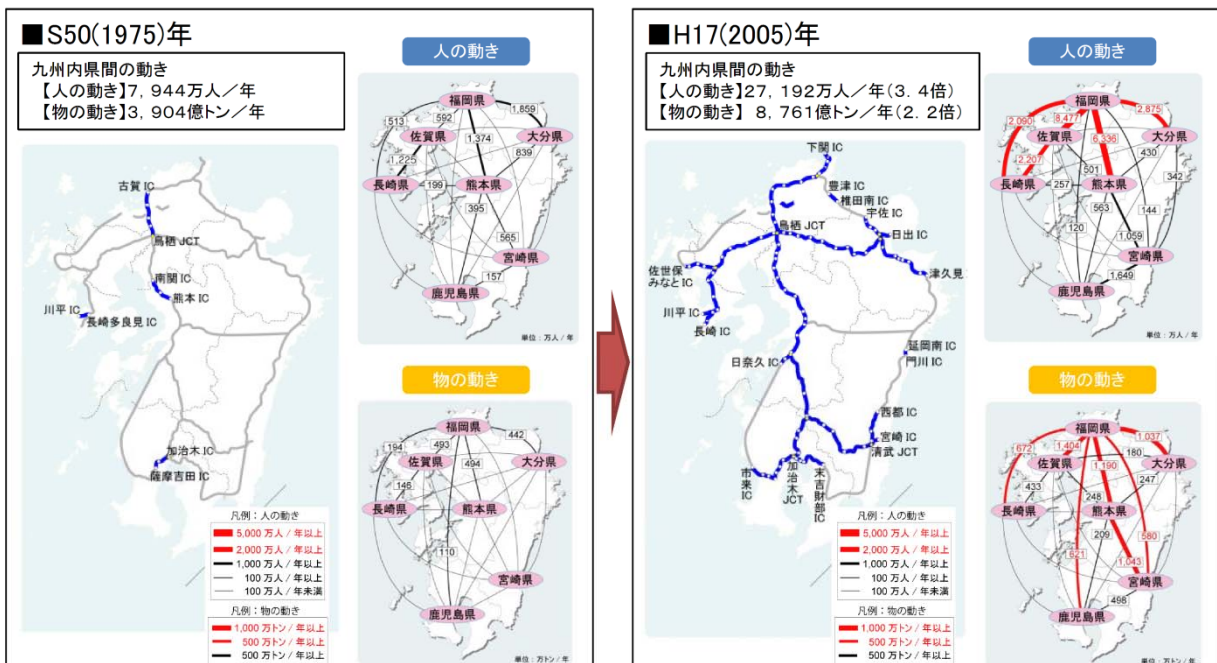
# 高速道路網の完成により期待される効果《参考》

東九州道などの九州の循環型高速道路網が完成すると、九州内主要都市間の移動時間が飛躍的に短縮され、特に東九州域の地域交流が活発になることが期待されます。



高速道路開通後の時間圏域(平成17年と将来の高速ネットワーク完成後)

高速道路の延伸に伴い、人や物の流れが広域化してきており、今後、東九州自動車道が完成すれば、循環型ネットワークの形成により、福岡(北九州)・大分・宮崎間の人や物の流れの活性化が期待されます。



▲九州の高速道路の変遷と旅客・貨物流動の変化

資料: 国土交通省 貨物・旅客地域流動調査